

鳴教かわら版 Vol. 4

Narukyo Kawaraban



懇親会での溝上元学長による乾杯

第3回 鳴門教育大学

ホームカミングデー開催

おかえりなさい、懐かしの鳴教へ —120人が集合

11月12日（土）に第3回ホームカミングデーを開催し、秋晴れの下、卒業生・修了生・元教職員など約120人が、懐かしのキャンパスに集い、互いの近況報告や昔話に花を咲かせました。

講演会での大学院学校教育研究科芸術系コース（音楽）の頃安利秀（ころやす としひで）教授による「これぞ歓喜の歌!!! 歌って踊れる第九の話」と題した講演は、2018年の第九アジア初演100周年を目前に、初演の地として盛り上がる徳島・鳴門に相応しい内容で、参加者から大変好評を得ました。

このホームカミングデーを通して、大学と卒業生・修了生をつなぐネットワークを構築し、今後の更なるフォローアップに取り組みます。



頃安利秀教授




↑ 講演会場の様子

→ 同窓会懇親会の様子



YouTube

ホームカミングデーの動画をYouTubeにて公開しています。
鳴門教育大学【公式】チャンネルをご覧ください。 



For the Future

学生たちの豊かな未来のために

鳴門教育大学では、次代を担う学生たちの豊かな未来のため、また、本学の社会的使命を果たすために「鳴門教育大学基金」を創設しました。

鳴門教育大学基金の事業

①学生支援、②国際交流、③社会・地域貢献、④教育研究支援、
⑤キャンパス・学修環境の充実、⑥附属学校園支援、
⑦経済的な理由により修学困難な学生などに対する修学支援、⑧その他以上の事業を行ってまいります。是非、皆様のご協力をお願いいたします。

御寄附は一口からお願いしています。

個人：一口 2,000円

法人：一口 10,000円

問合せ先：鳴門教育大学
経営企画本部総務課総務係
電話：088-687-6014

税制上の優遇措置について

⑦修学支援事業への寄附は、税額控除の対象で、税額控除と所得控除のいずれかを選択が可能です。

①～⑥、⑧の事業への寄附は、所得控除の対象です。

寄附者への御礼について

寄附者の皆様を芳名帳やウェブページ（希望者のみ）にて顕彰させていただきます。

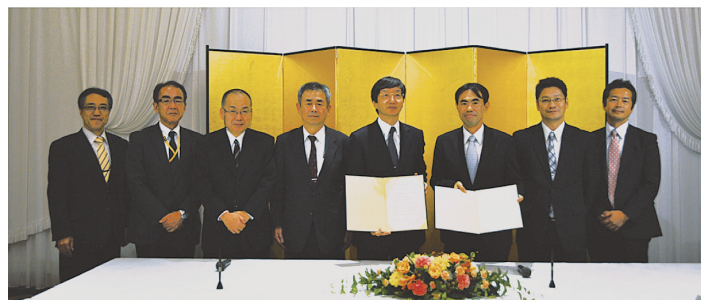
さらに、高額寄附者（20万円以上）には、銘板への掲載（希望者のみ）や陶板レプリカ（阿波鳴門之風景）を贈呈させていただきます。

教員研修センターと連携協定を締結

～教員の再教育・研修の更なる高度化に向けて～

10月25日（火）に独立行政法人教員研修センターと、教員の再教育・研修に関して連携・協力するための協定を締結し、相互の連携・協力を約束しました。

この連携協力協定に基づき、鳴門教育大学教職大学院カリキュラムと教員研修センタープログラムを相互に活用することや、教員の資質向上のための研修プログラムの開発と支援に関する様々な事業の推進に取り組むこととしています。



写真（左から）◆鳴門教育大学 古川聖登経営企画本部長、岩切健一郎理事、佐古秀一理事、大石雅章理事、山下一夫学長
◆教員研修センター 高口 努理事、宮崎 孝総務部長、 坏 夏男総務課課長補佐

学長特別対談を実施

山下一夫 鳴門教育大学長 × 飯泉 嘉門 徳島県知事

9月30日（金）に、徳島県知事の飯泉嘉門（いいずみ かもん）氏をお招きし、「徳島県を拠点に日本・世界に展開する鳴門教育大学への期待」と題し、学長特別対談を行いました。

本学が取り組んでいる消費者教育の推進、グローバル人材育成・国際教育貢献、いじめ防止支援並びに地域の学力向上支援など話題は多岐にわたり、熱のこもった意見が交わされました。

鳴教かわら版Vol.5で、この対談の特集をしています。また、本学ウェブページでもご覧いただけます。

(<http://www.naruto-u.ac.jp/information/01/024.html>)



飯泉嘉門徳島県知事（左）と山下一夫学長

JICA受託研修事業(教育関連分野(課題別研修,国別研修))現地フォローアップ

カメルーン共和国で授業研究ワークショップを開催

本学では、2008年度からJICA(独立行政法人国際協力機構)の受託事業で、仏語圏アフリカ諸国における授業研修を実施しています。この研修では日本の授業研究が紹介され、研修を受けた研修員らは自国に授業研究(Lesson Study: Étude de leçon)を導入し教育改善に役立っています。併せて、2011年度からは鳴門教育大学の研修の特徴である現地フォローアップとして、国際教育コースの小澤大成教授、石村雅雄准教授がカメルーン共和国を訪問し、授業研究のあり様を観察し、助言してきました。

2016年度は、カメルーンにおける授業研究のさらなる発展のため、国際教育コースの石坂広樹准教授、現代教育課題総合コースの田村和之准教授もカメルーンに渡航し、授業観察、授業検討会への参加、学力調査等を行い、そのまとめとして、9月27日にカメルーン基礎教育省、中等教育省、JICAカメルーン事務所とともに、授業研究ワークショップを開催し約50人の教育関係者が参加しました。ワークショップには、中等教育省のイヴォ・レケ・タンボ事務次官や基礎教育省のウレ及びアバッサ両国民教育総視学官も出席され、本学の各教員から報告されたカメルーンにおける理数教育の問題点や、授業研究の現状と課題などについて、参加者と活発な議論を交わしました。

また、今回訪問した在カメルーン日本大使館の岡村邦夫大使から「箱物だけでなく、地に足のついた地道なソフト面での協力ということが重要で、大使館としても協力をしていくので、今後も頑張ってください」とのお言葉をいただき、カメルーンとの教育協力の励みになりました。



ワークショップ参加者との記念撮影



ワークショップの様子

平成28年度 鳴門教育大学優秀教員表彰式・特別表彰式を挙

10月3日(月)に平成28年度鳴門教育大学優秀教員表彰式並びに特別表彰式を行いました。

優秀教員表彰は教育・学生生活支援、研究等において優秀な教員を、特別表彰は顕著な功労等があった職員を表彰しています。

表彰式では、優秀教員2名がベストティーチャー賞を受賞し、教員1名が特別表彰を受けました。



優秀教員 (ベストティーチャー賞)

ちかもり けんすけ
近森 憲助 特命教授
国際協力コース

学生交流による体験的異文化理解を通じた教師教育や国際教育協力事業の推進を評価。



優秀教員 (ベストティーチャー賞)

おぐら まさよし
小倉 正義 准教授
臨床心理士養成コース

不登校児への訪問臨床事業やスクールカウンセラー事業など生徒指導分野における地域貢献などの実績を評価。



特別表彰

みなみ たかひさ
南 隆尚 准教授
生活・健康系コース(保健体育)

水球男子日本代表チームのアシスタントコーチとして長年指導に携わり、2016年リオ・オリンピックにおいて32年ぶりの五輪出場に貢献した等の功績を評価。

南海トラフ巨大地震を想定した防災訓練を実施 「いのちを守る教員に」

11月1日(火)に南海トラフ巨大地震による地震・津波を想定した防災訓練を実施しました。

訓練には地域住民や学生、教職員など約450人が参加。教員を目指す学生も、真剣な面持ちで訓練に臨みました。

山下学長は訓練の総括として「**将来教員となる学生が災害対応を学び、子供達の命をしっかりと守ってもらいたい**」と学生にエールを送りました。

また、教育現場における危機管理の一環として現地防災実習を取り入れ、徳島県南部総合県民局や地域自主防災連絡会などの協力の下、12月10日(土)に実施した県南部地区(阿南市)での防災実習には約80人の学生が参加しました。

さらに、「とくしま防災インカレ」では本学の学生グループが研究発表をするなど、危機管理(いじめなどの学校課題や防災など)に強く「いのち」を守る力を備えた教員の養成に取り組んでいます。



消防士によるAED講習



高台への避難訓練(阿南市)

附属特別支援学校 創立50周年記念学校祭を開催

12月4日(日)に本学附属特別支援学校の創立50周年記念学校祭・式典が開催されました。学校祭では、各学部の児童生徒による学習発表・表現の他、即売会などが行われ、訪れた卒業生や旧職員の方々は、母校を懐かしむとともに、後輩たちの一生懸命に取り組む姿に目をほころばせていました。

附属特別支援学校 山越 明 校長の挨拶では、「これからも特別支援教育のセンター的機能の強化を推進するとともに、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒が自立し、社会参加できる教育に取り組んでいきたい」と述べるとともに、特別支援教育への一層の支援を呼びかけていました。また、創立50周年記念セレモニーに出演した附属小学校合唱部・附属中学校吹奏楽部による演奏に、会場から大きな拍手が送られました。



700人がキャンパスを駆けつけた

第2回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学



力走する山下学長(右)と黒川総長補佐(大阪成蹊大学)



昨年度に引き続き、11月6日(日)に「第2回鳴門リレーマラソンin鳴門教育大学」が開催されました。このリレーマラソンは鳴門市との協働で開催され、前回は上回る約700人のランナー、全63チームが参加しました。

当日は天気に恵まれ、大会実行委員会委員長の本学 岩切健一郎理事(総務・財務担当)によるスタートの号砲で、各ランナーが一斉に大学構内へ駆け出しました。

本学チームのアンカーを務めた山下学長は、第一回大会実行委員会委員長を務めた大阪成蹊大学 黒川総長補佐・教務本部長(前鳴門教育大学理事)と同時にゴールし、お互いの健闘を称え合いました。

次年度開催予定の第3回でも、多数の方が本学を訪れていただけることお待ちしております。



スタートの号砲を鳴らす岩切理事